

平成20年3月5日

川上ダム建設予定地  
直上流住民  
種生地区 平田 忠幸

### 川上ダム建設早期完成を望む

川上ダム建設計画が当時の建設省より発表された当時は、川上地区はもちろん当時の青山町全体がダム建設に猛反対の意見が出され暗唱にのりあげましたが、建設省の上野地区及び淀川下流住民の生命と財産を守るための度重なる折衝（説得）に青山地区、特に川上地区の住民は涙をのんだのであります。

1967年建設省はダム建設予備調査を開始、それから40年が経過しました。未だにダム建設の予定も立っていません。

この間ダム予定地直上流の生活道路は置き去り、台風シーズンには命懸けで生活主要道路としての悪路を通行することを余儀なくされたのであります。

計画通りであれば2004年には完成しているはずであった。

こうした中、ダム建設に対する法律に「環境」と言う文言が加わり遅れに遅れが加わったと聞いております。

専門家の「委員会の意見」を聞くのはこれから計画されるダム事業についてで有れば理解出来ますが、既に建設予定され川上住民は「墓」まで掘り起こし移転、ダム建設予定地の立木は切り倒され耕作地は荒れ放題の現状で、川上ダム本体工事に取りかけられる寸前の状態になってダムは不要とか、環境はどうか、洪水の堤防補強等と何故そんな方向に話が進むのか理解できません。委員会の横暴としか思えません。

「淀川水系流域委員会」を立ち上げ5年間もの間、私もこの委員会には何度か傍聴に参りましたが、その道の専門家とは言え、前にも進まぬ議論ばかりがされているように思えました。いいかげんに川上ダム建設の結論を出されてはどうかといただちさを覚えました。

ここまで進んだ川上ダム建設予定「川」「山」の環境調査も進んでいるようであります。ダム建設反対の住民はごく一部の人達、地域住民の殆どの皆さんがダム建設早期完成を待ち望んでいます。一刻も早いダム完成をお願いいたします。